

誤飲の危険について

生後5カ月を過ぎると、子どもは好奇心から何でも口に入れるようになります。

子どもが予想外のものを飲み込んでしまいそうになり、ヒヤリとする事もあるかと思います。

今回は子どもが「誤飲しやすいものワースト20について」です。

- ティッシュ・新聞紙などの紙類
- シール
- しゃぼん玉液
- 医薬品
- タバコ
- ビー玉
- ペットボトルのフタ
- 小さなゴムボール
- ミニカー・ミニカーの部品
- 硬貨
- ままごと用のおもちゃ
- ビーズ
- 電池
- ブロック・積み木
- おもちゃの弾丸
- 歯磨き
- ポリ袋
- 固形石鹸
- 保冷剤
- 乾燥剤・脱酸素剤

上記のように、子どもの身近には、危険が潜んでいます。

誤飲は、1歳での経験が最も多く、次いで0歳、2歳です。1歳前後のなんでも口に入れる時期には、特に注意が必要です。

また、3歳の子どもが大きく口を開けた時の最大口径は39mmと言われていて、これは標準的なトイレットペーパーの芯の内径とほぼ同じ大きさです。

トイレットペーパーの芯を通過する大きさのものは子どもの手の届くところに置かないようにして、誤飲予防に努めましょう。